



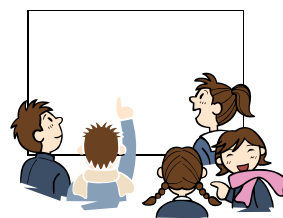
(1) 教採1次試験結果報告

8月に各自治体の1次試験の合格発表がありました。結果は、下記の通りです。今年はコロナ対応のために、自治体によっては試験1か前に突然論文試験、模擬授業、集団討論の中止が発表されるなど、半年以上前から論文添削や模擬授業指導・集団討論指導を受けて来た人にとっては本当に気の毒な試験となりました。もっと早く中止が発表されていれば、論文練習をやめて筆記試験に時間をさけたのにと心痛みます。「どの受験生も条件は同じだから」と励まし、試験科目変更に立ち向かってもらいましたが、合格発表を見ると、改めて30回以上も論文添削を受けた時間が惜しまれます。恐らく論文試験があれば合格していたでしょう。本当に残念です。気持ちを切り替えて、私立学校教採に向かっていってほしいと思います。

自治体	東京都	神奈川県	埼玉県	茨城県	静岡県	横浜市	川崎市	群馬県	岐阜県	北海道	合計
数 学	7/7	2/3	0/2			0/1			0/1	1/1	10/15
理 科	4/4	0/1		1/1	1/1	1/1	1/1	0/1			8/10
合 計	11/11	2/4	0/2	1/1	1/1	1/2	1/1	0/1	0/1	1/1	18/25

★公立1次通過率=72.0% (18/25)

みんな頑張ってくれましたが、例年と比べて、特に東京都受験生の頑張りが目立ちました。この4年で最多の11名が受験して、ナント11名全員が1次試験を通過し、全体でも18名が2次試験に進みました。昨年10月から論文指導、2月3月と7月8月に面接指導を行ってきましたが、実施した甲斐があったと思います。是非とも全員が最終合格してほしいと願っています。



(2) 「報連相」について思うこと（受験報告と復元答案）

どの学生も教採に向けた練習は熱心だったのですが、がっかりしたこともありました。それは、事後報告と復元答案の提出が例年よりも少なかったことです。論文練習も面接練習も自分一人ではできません。そこに教職課程センターの存在意義があります。皆さんが教採に合格できるよう全力で支援するのが、教職課程センターの仕事です。ですから、指導を行ったり追加して練習を行ったりすることは厭いません。それで合格すればOKです。ただ、毎年気になっているのは、試験が終わったら何も言って来ない学生、復元答案を提出しない学生がいるという点です。学校で起きる教育課題は、教員一人では絶対に対応できません。組織的に対応することが不可欠です。そのために必要な資質があるかどうかを面接試験で見るわけですが、私は面接練習で、「場面指導対策として、自分一人では対応しないので、必ず学年主任などに報告・連絡・相談（報連相）・記録をください」と指導しました。みんな2次試験では、そのように答えていました。でも、受験報告や復元答案提出をしない人は、全く実践が伴っていません！口だけで面接を受けたとしか思えません。運よく2次試験に合格しても、本当に教員としてやっていけるのかどうか極めて不安です。更に言えば、指導してもらった人や大学に対する感謝の気持ちがかけるものかと思えます。これからの教員には、知・徳・体のバランスのとれた力=生きる力の育成が強く求められています。「徳」とは、思いやりの心、感謝の気持ち、優しさなどのことです。教員になる人にこれらが備わってなくて、それらを育成することができるのでしょうか。1試験結果はよかったのですが、この点については寂しさと不安が残ります。

(3) 3年生諸君へ：教採合格に向けて、よいスタートを切るために

4年生が頑張ったので、次は君たちの番です。既に2月・3月、7月・8月の「合格論文書き方講習」「面接講習」「個人面接練習」「集団討論練習」に4年生や卒業生に交じって参加した3年生が9人もいます。例年は2~3人なので、その意欲はとっても素晴らしいです。ただ、多くの3年生はこれから教採の準備を始めることでしょう。「教採準備は、先手必勝です！」1日でも早く始めれば、そのぶん合格率は高まります。秋学期の開始とともに、あなたの教採準備も始めましょう！では、何から始めればいいのか。各種講習動画は、希望があればいつでも送ります。ただ、その前にしておくことがあります。それは、下記の通りです。この順に準備を進めた方が効率的です。細かな相談は、教職課程センター（「こがねい」上部にあるアドレス）にメールしてください。（裏面に続く）

- ① 受験する自治体を確定する。(何はさておき、まずはここから)
- ② その自治体の過去問を分析して(問題は解かなくてよい)、筆記試験と論文等の出題傾向を把握する。
- ③ 論文試験があるなら、「合格論文書き方講習」の動画を見て書き方を勉強する。そして添削を受ける。
- ④ 筆記試験向けの参考書又は問題集を科目ごとに1冊用意し、それを3回勉強する。
- ⑤ 2月3月、7月8月に実施する「面接練習」に参加する。

(注)① 自治体によって試験科目が違います。東京都は一般教養がありませんが、教職教養が手ごわいです。千葉県には論文試験がありませんが、1次試験で集団討論があります。科目は同じでも出題傾向は、自治体によってかなり違います。途中で志望自治体を変えると、今まで準備してきたことが、ほぼ全部無駄になります。自治体決めは慎重に。

- ② 出題傾向を分析するには教育に関する専門性が必要。自分一人で悩まないで教員志望の仲間と一緒に乗り切りましょう。もちろん、教職課程センターには専門性の極めて高い職員が勤務しています。
- ③ どんな問題が出て合格点になる論文を書くためには、合格できるための決まった書き方を身に付けることが大切です。そのためには、練習が必要です。試験と同様に手書きで書き、合格をもらうまでは何度でも書いて修正し、合格点をもらったら次の問題に進むという作業の繰り返しが重要です。法政大学では、この4年間で、30回以上添削を受けた人は全員合格しています。論文の達人になるには、それくらい時間がかかるものなのです。来年は、今年のように論文試験が中止になるかどうか分かりませんから準備をしておくしかありません。問題はいつ始めるかです。早ければ早いほど合格圏達成も早いです。
- ④ 大学受験もそうですが、問題集や参考書を何冊も買う人は受験の素人です。よく使われている実績のある問題集や参考書を1冊だけ購入し、それを何回も勉強するのはです。さらっと1回やっただけで合格するほど教採は甘くありません。とはいえ、入念に3回以上勉強するだけの時間はあります。では、どうするのか。例えば、問題集を例にして説明しましょう。100問ある問題集に取り組むとします。まず、それを半分にします。例えば奇数番号の問題としてもいいでしょう。その50問を超スピードで解くのです。その時に大切なことは、解き終わった後の自己評価です。試験で同じ問題が出たとき、「解けそうならA」「ちょっと考えてしまいそうならB」「解けそうもないならC」と問題の横に書くのです。1回目は、その作業を超スピードで行います。1つの問題に20分以上かけてはいけません。本番では1題に20分以上もかけてはいられないからです。20分経ったら答えと解説を読み、A、B、Cの評価を付けます。1回目が終わったら、2回目です。2回目は、1回目でA評価を付けた問題は解きません。解くのは、BとCだけです。解いたら新たにA、B、Cの評価を付け直します。3回目も同様です。2回目でB、Cの付いた問題だけを解きます。この作業の結果、だいたいAが増えたことでしょう。それでもCの問題は必ず残ります。それをどうするか。答えは簡単です。「3回目にCが付いた問題は捨てる」これが答えです。捨てていいんです。教採筆記試験の合格最低点は、一般的に7割と言われています。言い換えれば、30点分は間違っているのです。難問に関わっている暇はありません。それ以外の問題で1点でも多く点数を取ってください。ちなみに、1次試験に合格したら、1次試験の結果は何点でも関係ありません。2次試験ではみんな同じスタートラインから面接試験を受けることになります。だから、1次試験で100点を取る必要はないのです。1次試験は受かってしまえば、それでおしまい。何点だろうと関係ないのです。
- ⑤ 2月以降の面接練習の日程や募集は、改めて「こがねい」や学習支援システムでお知らせします。

(4)「合格体験談発表会」「教育委員会による教採説明会」の日程

3年生の「教育実習事前指導」の授業の中で実施しますが、1・2年生や大学院生でも希望者が参加できます。参加を希望する人は、教職課程センターへお知らせください。説明会の自治体は、東京・埼玉・神奈川。

「合格体験談発表会」11月28日(土) 13:20~17:00 [zoomで実施] (3年生以外は途中参加・退出可)

「教育委員会による教採説明会」12月5日(土) 13:20~17:00 [zoomで実施] (3年生以外は途中参加・退出可)

(5) 学習ボランティアや自治体主催の教員養成プログラムは、もはや教採の必修科目

最近、教採で願書や面接票などに、学習ボランティアや自治体主催の教員養成プログラムへの参加状況、そこから学んだことなどを書かせることが多くなりました。それらの体験がない人は、学習塾講師の経験や介護等体験について書くこととなりますが、公立学校で学習ボランティアをしていた人とは書ける内容に差があり過ぎます。塾講師や介護等体験も貴重ですが、教採合格のためには公立学校での学習ボランティアをお勧めします。教職課程センターにもたくさん募集が来ています。是非一度見に来てください。また、志望自治体が教員養成プログラムを実施していたら是非応募してください。例えば、学習ボランティアは、

- 都立広尾(ひろお)高校:私か前校長。定期考査前に自習室で生徒からの質問を受けて指導する。最寄駅はJR恵比寿。
- 台東区立柏葉(はくよう)中学校:卒業生が勤務。教採指導あり。特別支援学級の介護等の支援。最寄駅はJR上野。
- 杉並区立高南(こうなん)中学校:前副校長が法政大学工学部卒業生。最寄駅はメトロ新高円寺(大学から45分)。
- 荒川区立第七中学校:卒業生が勤務。教採指導あり。数学の補習指導。各種検定指導等。最寄駅はJR尾久。
- 渋谷区立鉢山(はちやま)中学校:授業補助、行事の補助、休み時間の補助等。最寄駅はJR渋谷又は東急代官山。